

2025年4月号 柳沢プログラム



<https://kodomo-plus.co.jp/>

Copyright © 2024 こどもプラスホールディングス株式会社 All Rights Reserved.

4月号 柳沢プログラム

4月の運動療育

- | | |
|------------------|-------------------|
| 【基礎】カエル&カンガルー | ▶ 【発展】跳び箱ジャンプ |
| 【基礎】幅のある横跳びカンガルー | ▶ 【発展】陸上バタフライ |
| 【基礎】2本橋渡り | ▶ 【発展】1本橋渡り |
| 【基礎】グーチョキパー | ▶ 【発展】グーチョキパー変身遊び |
| 【基礎】電車歩き | ▶ 【発展】一列歩き |
| 【基礎】スキップクマ | ▶ 【発展】障害物スキップクマ |

4月のコラム

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 運動プログラム応用アレンジ | ▶ クマさんめいろ |
| 作業療法士による発達支援コラム | ▶ お子さんの食事に関するお悩みについて |
| アクティビティ紹介 | ▶ 就労支援を行っている施設の見学と体験 |
| 職員インタビュー | ▶ こどもプラス国府台教室O先生 |
| ことばの発達コラム | ▶ ことばの発達を確認するポイント |



4月の運動療育

基礎編 ▶ カエル&カンガルー

- 《カエル》
- 1.肩幅ぐらいに足を開き、両手を体の前でくっつけましょう。
 - 2.しゃがみ姿勢になり両足の間で手を床に着けましょう。
 - 3.手と足を同時に動かしてジャンプしましょう。

- 《カンガルー》
- 1.立ち姿勢で両足をくっつけましょう。
 - 2.手はお腹の前にしてグーにしましょう。
 - 3.両足くっつけたままジャンプしましょう。

！ 気をつけるポイント

- 《カエル》
- しゃがんだときに足を開くようにしましょう。
 - 足だけジャンプをせず、手をしっかりと床に着いてジャンプするようにしましょう。
 - ジャンプした際に前のめりに転んでしまうことがあります。

- 《カンガルー》
- ジャンプ中に足が離れないように、「のり付け」や「テープ巻き」のイメージから促してみましょう。
 - 両足ジャンプができにくい場合は、大人が向かい合って手をつないで両足ジャンプしやすいようにしましょう。
 - 背中が猫背にならないように伸ばして上にジャンプしましょう。
 - 慌ててしまい、足が離れて走らないようにしましょう。

養われる力

身体面：支持力、跳躍力、足の指での蹴り上げや踏ん張りができる

イメージ力：動物の情報（絵カード）から動きや姿を引き出すことができる

身体のコントロール：手と足を一緒に動かすことができ、両足が離れないように維持することができる



教室職員様専用
QRコード



基礎編 ▶ 幅のある横跳びカンガルー

- 1.紐やテープ等で幅を作りましょう
- 2.線を踏まないように、腕を振って大きなジャンプをしましょう。
- 3.カンガルーで横跳び移動をしましょう。
膝を曲げて、強く横跳びが出来るようにしましょう。

！ 気をつけるポイント

- 膝を曲げて、ジャンプをするイメージを持たせるために、しっかりと見本を見せましょう。
- 紐やテープを踏まないようにしましょう。
- 縦向きの前跳びにならないように、身体を横に向けて横方向のジャンプをしましょう。
- 着地で転ばないように、着地まで気を抜かないようにしましょう。



養われる力

身体面：跳躍力、足の指先の力

身体のコントロール：両足を離さないように横跳びする動き、膝のクッション、上半身と下半身の力の伝達

空間認知：紐やテープの幅を視覚で捉える

教室職員様専用
QRコード



発展編 ▶ 跳び箱ジャンプ

- 1.跳び箱1段に登り、その上からジャンプしましょう。
- 2.ジャンプは、両足ジャンプ（カンガルー姿勢）です。
- 3.着地点には、厚めのマットを敷きましょう。
- 4.跳び箱に登る際は、手を着いてから足を乗せましょう。
- 5.膝を曲げて着地して、転ばないようにしましょう。

！ 気をつけるポイント

- 跳び箱に登る時に足だけで登るとバランスを崩してしまうので必ず手を着いてから登るようにしましょう。
- カンガルーの姿勢を意識して、ジャンプは片足ではなく両足でジャンプしましょう。
- ジャンプ後に前のめりに転ぶことがあるので、補助として手を胸あたりにかざしましょう。
- 恐怖心がある場合、お子さんと手をつないで「せーの」と言葉掛けを促して安心感の中でジャンプしてみましょう。
- ジャンプする際と着地の際に、膝曲げて行えるようにしましょう。



養われる力

高所感覚：高いところでの状況把握ができる
身体が緊張して硬直しない

身体面：膝のクッションを活用できる
足指での踏ん張りができる

バランス力：限られたスペースでの身体バランスを維持し、転ばずに着地できる

教室職員様専用
QRコード



発展編 ▶ 陸上バタフライ

- 1.ジャンプしながら手（腕）を回しましょう。
- 2.その場で陸上バタフライができるようになったら、前に進みながら行ってみましょう。
- 3.両足はくっつけて、カンガルーのようなジャンプをしましょう。
- 4.腕は伸ばして、大きな動きで行いましょう。

！ 気をつけるポイント

- 隣の友達にぶつからないように、広い場所で行いましょう。
- 前に進みながら行う際、「足の間に魔法ののり」をつけるから両膝をくっつけてカンガルーのように前に進もう」と伝えて、走らないように注意しましょう。
- 腕は、真っ直ぐ伸ばして回しましょう。（腕が曲がったり、手だけを回さないようにしましょう。）



養われる力

身体面：跳躍力、足の指先の力、腕の回し

身体のコントロール：両足をくっつける動き、上半身（腕）と下半身（足）の別々の動き、膝のクッション

バランス力：転ばないようにする

教室職員様専用
QRコード



4月の運動療育

基礎編 ▶ 2本橋渡し（線渡りで手を広げる《2本》）

- 1.線（テープ）を床に張り、その上を歩きましょう。
- 2.線の幅は、20cmくらいにしてビニールテープの線路を作りましょう。
- 3.線を「踏む」ということを伝えましょう。
- 4.線から落ちないようにして歩きましょう。

！ 気をつけるポイント

- 線を見ながら歩くことを促しましょう。
- ゆっくり歩きましょう。急いで歩いて、線から落ちないようにしましょう。
- すり足にならないようにしましょう。
- 目線は、3mほど前を向きながら行うようにしましょう。



教室職員様専用
QRコード



養われる力

- 身体面：基礎筋力がつけられている
- 空間認知：線を視覚で捉えることができる
- 身体のコントロール：左右の足を歩くように前に出す動きができる

発展編 ▶ 1本橋渡し（線渡りで手を広げる《1本》）

- 1.両手を広げて、線の上をゆっくり歩きましょう。
- 2.目線は足下ばかりでなく、ゴール地点にいる大人の姿を見ることと、切り替えながら行いましょう。
- 3.線の上をあるくときは、裸足で行いましょう。
- 4.つま先歩きができるようなら、つま先であるくと足の親指が刺激されます。先々、安定した歩き方が出来るようになります。

！ 気をつけるポイント

- 広げる手は、真っ直ぐ大きく伸ばしましょう。
- 肘が曲がらないようにしましょう。
- 早く歩く必要はありません。真っ直ぐなコースだけでなく、ジグザグに曲がったコースも良いでしょう。あまり細かく曲げず、大きく曲げて行いましょう。



教室職員様専用
QRコード



養われる力

- 身体面：基礎筋力がつけられている
- 空間認知：線を視覚で捉えることができる
- 身体のコントロール：左右の足を歩くように前に出す動き、手を広げて指先まで伸ばす動きができる



基礎編 ▶ グーチョキパー

- 1.「グー」「チョキ」「パー」の順番で、変身しましょう。
- 2.大人の言葉に合わせて、真似しながら行ってみましょう。
- 3.慣れてきたら、順番を変えながら行いましょう。

！ 気をつけるポイント

- ゆっくりなテンポで変身しましょう。
- 曖昧なグーチョキパーにならないようにしましょう。急いで行くと、慌てて正確性に欠けてしまいます。
- 手で上手に、「グー」「チョキ」「パー」が出せるようになったら、足でも行ってみましょう。
- 初めのうちはぎくしゃくしていると思いますが、リズムなどに載せてくり返すうちに出来るようになってきます。しばらく繰り返して行ってみましょう。



養われる力

- 身体面：指の動きの発達が確認できる
- 身体のコントロール：指先での動き順に指を変身する動きができる
- 模倣力：大人の手動きをマネすることができる

教室職員様専用
QRコード



発展編 ▶ グーチョキパー変身遊び

- 1.「グー」「チョキ」「パー」を順に変身しましょう。
- 2.大人の言葉に合わせて順に変身しましょう。
- 3.順は変えても良いでしょう。

！ 気をつけるポイント

- 上記のグー、チョキ、パーと共通です。
- ゆっくりなテンポで変身していきましょう。
- 曖昧なグー、チョキ、パーにならないようにしましょう。（急いだり慌ててしまうとやりやすい）
- 指先までしっかりと伸ばすことを意識して行いましょう。



養われる力

- 身体面：指の動きの発達が確認できる
- 身体のコントロール：指先での動き順に指を変身する動きができる
- 模倣力：大人の手動きをマネすることができる

教室職員様専用
QRコード



4月の運動療育

基礎編 ▶ 電車歩き（前の人の肩を掴みながら歩く）

1. 一列に並び、前の友達の肩を掴んで歩いていきましょう。
2. 腕は伸ばして、前の友達の肩を持ちましょう。
3. ホール以外にも、廊下や教室の中を移動してみましょう。

！ 気をつけるポイント

- 腕が曲がらないようにしましょう。
- 前の友達を押さないようにしましょう。
- 一人で勝手に進まないようにしましょう。（友達に付いていく）
- スピードを上げると、前の友達にぶつかったりして危険です。慣れるまではゆっくり一定のペースで行いましょう。
- 慣れてきたら、止まったりする動作も入れて良いですが、慣れるまでは止まらないように行いましょう。



教室職員様専用
QRコード



養われる力

- 身体面：腕を伸ばして固定した状態で、歩くことができる
- 社会性：友達とコミュニケーションがとれる
- 空間認知：前の友達を視覚で捉えることができる

発展編 ▶ 一列歩き

1. 電車歩きと同じように、前の友達に続いて歩いて行きましょう。
2. 前の友達と、一定の間隔を維持して歩くようにしましょう。
3. 離れすぎず、近づきすぎず歩いて行けるようにしましょう。

！ 気をつけるポイント

- よそ見をしないように、口を閉じて行いましょう。
- 列が曲がらないようにしましょう。
- 友達を抜かさないようにしましょう。
- 友達との間が開きすぎないようにしましょう。
- 友達とくっつきすぎないようにしましょう。



教室職員様専用
QRコード



養われる力

- 身体面：基礎筋力がつけられている
- 社会性：友達とコミュニケーションがとれる
- 空間認知：前の友達を視覚で捉えることができる



基礎編 ▶ スキップクマ（スキップ調のクマ歩き）

1. スキップ調の足運びでクマ歩きをしましょう。
2. クマの姿勢を維持しましょう。
3. しっかりと見本を見せて、手を着いた状態で足だけをスキップさせるイメージを持たせましょう。

！ 気をつけるポイント

- スキップ調ができにくい場合は、片足左右ケンケンでのクマ歩きをしましょう。
- クマの姿勢のポイントを確認して、姿勢維持へつなげましょう。（手、膝、お尻、顔）
- 顔から転んでしまうこともありますので、ゆっくり進みましょう。



教室職員様専用
QRコード



養われる力

- 身体面：支持力、足の指先の力がついている
- 身体のコントロール：スキップ調にする足運びができる
- 抑制力：ゆっくり慌てないで進むことができる

発展編 ▶ 障害物スキップクマ

1. 障害物（テープや紐、フープ等）を設置しましょう。
2. 障害物に当たらないようにスキップクマを進みましょう。
3. クマの姿勢を維持するのが大切です。しっかりと手をパーにして、顔を前に向けて進みましょう。
4. スキップが出来ない場合は、片足ずつ2回ステップを踏むような動きに変更しても構いません。

！ 気をつけるポイント

- スキップクマと同様に、急がず自分のペースで進みましょう。
- 渋滞することが予想されますので、コースは3〜4つ作って行いましょう。
- 手を床に着いて、足だけのジャンプをしますが、手と足が同時にジャンプをしてしまうことがあります。しっかりと手は床に着きましょう。



教室職員様専用
QRコード



養われる力

- 身体面：支持力、足の指先の力がついている
- 身体のコントロール：スキップ調にする足運びができる
- 空間認知：障害物を視覚で捉えることができる

運動プログラム 応用アレンジ

こどもプラス直営教室で実施している運動遊びをご紹介します。
教室で、ご家庭で、お子さんと過ごす時間にぜひ運動遊びを取り入れてみてください。

クマさんめいろ

何人で遊ぶ？

1人から遊ぶことができます。

何を使って遊ぶ？

コースを作るためにロープやマスキングテープなどを使います。

どこで遊ぶ？

教室、お家の広いスペースで遊ぶことができます。

養われる能力



姿勢を良くしよう！

この遊びは支持力を高めるのに役立ちます。上腕や肩甲骨周り、背中の筋力が鍛えられ、両手を使う動作は転倒時に体を守るだけでなく、呼吸や姿勢、さらには脳の活動にも良い影響を与えます。また、この活動は体幹の強化にも繋がります。体を動かす時、力が全身に効率よく伝わることで、スムーズな動作に変わり、手足の力や姿勢を維持する力の向上にも繋がります。

▶ 支持力 ▶ 体幹

バランス力は、転倒予防に繋がる？！

バランス力とは、静止している時や動いている時に姿勢を安定させたり、不安定な姿勢から素早く元に戻したりする力のことです。『立つ』や『歩く』など、日常生活において非常に大切な力であり、転倒予防にも欠かせない要素です。

▶ バランス力

！ 注意するポイント

- 遊びを行なうスペースに物が落ちていたり、ぶつかるものがないか確認してから、広いスペースで遊びを始めてください。
- 支持力や体幹がまだ十分でない場合、バランスを崩して転倒することがあります。イヌ歩きやクマ歩きなどで、支持力や体幹をしっかり身に付けてから遊びを行なってみましょう。

運動の説明

1 広いスペースにコースを作ります

床に物が無い広いスペースにロープやマスキングテープを使ってコースを作ります。写真のように、色違いのテープで何本かの入り組んだコースを作成してみてください。



2 コースの上をクマさん歩きで進んでみましょう

進みたいコースを決めて、クマさん歩きで進んでみましょう。

クマさん歩き・・・

ハイハイ姿勢から膝とお尻を上げ、手はパーにします。そのまま膝を床に付けないようにしながら、顔を上げて、前を見ながら進みます。



3 【クマさん歩きが難しい場合】 忍者歩きで進んでみましょう

クマさん歩きが難しく感じるお子さんは、忍者歩きで進んでみましょう。

忍者歩き・・・

足を高く上げずに、つま先が床に吸い付くようにして足音を立てずに歩きます。



4 【簡単な場合】 障害物を置いてチャレンジしてみましょう

簡単に感じるお子さんは、それぞれの道にコーンやブロックなどの障害物を置いて、跨ぎながら進むチャレンジをしてみましょう。



5 【簡単な場合】 踏切を超えられるかチャレンジしてみましょう

道の途中に踏切を作ってみましょう。踏切はスポンジ棒や新聞紙を丸めた棒で作ることができます。大人が踏切の役をして「カンカンカンカン」と言って棒を前後に動かしましょう。棒に当たらないで、踏切を超えることができるか、チャレンジしてみましょう。



作業療法士による 発達支援コラム

毎月作業療法士による「こどもの心身発達と支援方法」をテーマにしたコラムを掲載いたします。

お子さんの食事に関するお悩みについて ～感覚の捉え方の違いとは？～

今回は、偏食がある、食べ物をよく噛めない、噛まずに飲み込んでしまうお子さんについて、原因や改善するための支援方法をご紹介します。

偏食の原因

偏食の原因として考えられるものは、口の中の感覚が過敏で、苦みや辛み、食感に強い不快感を感じる事が挙げられます。

逆に、感覚が鈍感である可能性も考えられます。

また、噛む力が弱いことも偏食の原因となります。噛む力が弱いと、食べ物を十分に噛み砕くことができず、飲み込みやすい食材に頼ることが増えます。

偏食によるデメリット

栄養が足りていないため、生活習慣病のリスクが高くなります。偏食は、栄養不足だけでなく、食事を通じたコミュニケーションや家族の食事時間にも影響を与えることがあります。

食べ物を十分に噛めない、噛まずに飲み込んでしまう原因

食事に集中できていない、空腹感が十分ではない、などの原因から噛む力が発揮されないことがあります。または噛まないで飲み込める柔らかい食べ物（おかゆやゼリーなど）ばかりを普段から食べているため、噛む動作が育っていない可能性も挙げられます。

また姿勢が悪いと、食べ物がうまく飲み込めないことがあります。背中が丸まっていると、食道に飲み込んだものがスムーズに送られない場合があるため、姿勢にも注意して見守りましょう。

食べ物を十分に噛めない、噛まずに飲み込んでしまうことによるデメリット

栄養を効率的に吸収できず、必要な栄養が不足することがあります。また、食べ物が気管に入ると、肺に入って感染症や肺炎のリスクが高まる可能性があります。

偏食を改善するための支援

- 1 好きな食べ物から段階的に移行する
好きな食べ物の食感・味・温度・匂いを元に、段階的に他の食べ物に近づけていく方法があります。例えばお子さんの好物がフライドポテトの場合、
フライドポテト→ゴボウの揚げ物→ゴボウの炒め物→ゴボウを使った煮物
というようにお子さんが好きな食感や匂いなどの感覚を利用して、別の食材も食べられるように工夫していくと効果的です。

- 2 形や味を徐々に変化させる
食材を細切りにしたり、短冊切りにしたりとお子さんが食べやすく、好む形を探しましょう。例えば、野菜を星形やハート形に切ることで、お子さんはその食材に対して興味を持ちやすくなります。また、お子さんが好きな味付けから、別の味付けに変化させていく方法もあります。



- 3 お子さんの好物や食べ慣れたものと一緒に食べる
お子さんの好きなメイン料理の副菜に少量の苦手なものを添えて、一緒に食べることを条件付ける方法があります。例えばハンバーグの場合、副菜の味付けもハンバーグのデミグラスソースなどでお子さんの好きな味付けにすると効果的です。

- 4 環境を調節する
食べることに集中できていない、周囲の匂いに敏感な可能性も考えられます。そのため、お子さんが食事に集中できるようにパーテーションを設置したり、普段使っている食器や、お子さんが好む食器を使用することが有効です。

- 5 ガムを使った体操
お子さんがガムを噛むのが初めての場合、最初は少量から始め、ガムの適切な食べ方を説明しながら進めましょう。お子さんがガムを飲み込んでしまわないように注意しましょう。

- ① ガムを噛む
- ② ガムを口の中で丸める
- ③ ガムを舌の上に伸ばす
- ④ ガムを膨らませる

- 6 あいうべ体操
この体操では顔の筋肉や口の周りの筋肉を鍛えることができるため、噛む力が強くなります。

できるだけ顔の筋肉を大きく動かして体操を行ないましょう。

1～4をゆっくり10回繰り返しましょう。朝昼晩、食事の前に

1日3セット行なうと口の動きがスムーズになる効果が期待できます。

- ① 「あ～」と言いながら、喉の奥が見える程度に大きく口を開きましょう。
- ② 「い～」と言いながら、前歯が見える程度に大きく口を横に広げましょう。
- ③ 「う～」と言いながら、唇を前に突き出しましょう。
- ④ 「べ～」と言いながら、舌先を思いきり前へ伸ばしましょう。



- 7 座る時の姿勢を良くするトレーニング

【手押し車】

- ① 前にいるお子さんの両膝のあたりを持ち、ペースを合わせて前に進みましょう。
- ② 前にいるお子さんが進みながら前を向けるように、声掛けをしながら行ないましょう。
- ③ 安定したら片方の足のみを持ち上げてチャレンジしてみましょう。

【レスキュー隊ごっこ】

- ① ロープを跳び箱などの重たいものに取り付け引っ張り手も取れない状態にします。
- ② ロープの先をつかみ、手の力で引っ張りながら前に進みましょう。
- ③ うつ伏せで進む・仰向けで進む、などで難易度を調節しましょう。



お子さんの成長には健康的な食生活が欠かせません。しかし、無理やり食べさせることは今後さらに食べられなくなることに繋がる可能性があるため、支援方法には注意が必要です。お子さん達が自分らしく生きていける手助けができるよう、今後も作業療法士のコラムにて情報をお伝えしていきます。日々の療育にお役立ていただけると幸いです。

参考文献

1. 岡崎 好秀 ～子どもの「ポカン口」～航空機能発達不全症 「ポカン口」はなぜいけないの？
Let's8020 https://www.8020zaidan.or.jp/naomitsushin/vol_06_03.html (閲覧日:2025-01-20)
2. 藤伊 葉子 発達障害児の偏食改善,リハビリテーション・エンジニアリングVol.32 No.4,(2017)

ぼくたち・わたしたちの アクティビティ紹介

就労支援を行っている施設の見学と体験

学校休業日に就労支援を行う施設の見学に行きました。

施設見学

見学をさせていただいた施設は、バウムクーヘンの製造、新聞紙折り、町の施設の清掃作業、ドライマンゴーの袋入れなど様々な事業を行なわれています。お子さん達は間近で見るバウムクーヘン作りをととても熱心に見ていました。バウムクーヘンを作っている工房や施設で行なっている作業の見学をした後、施設の方のお話を聞かせていただきました。お子さん達は自ら施設の方々にたくさんの質問をしている様子が見られました。

特に高等部のお子さん達は学校でも実習を行なっていることもあり、「働く」ことについて意識がしっかり芽生えてきているように感じました。



バスボム作り体験

見学後、施設にてバスボム作りを体験させていただきました。

お子さん達は説明をよく聞いて取り組んでいました😊

まずは好きな色を選び、中に入れる好きなおもちゃと型を選びます。



さらに重曹とクエン酸を混ぜて色を付け、揉みこみます。
色水が全体に行き渡るように袋の上から揉んでいきます！
手先の運動になりますね！



次に型とカップに粉を入れて詰めていきます。
カップの方は力が強すぎると割れてしまうので、力加減が必要です。



最後はラッピングをして売り物のようになりました！！



完成✨



施設の方々のご協力で施設見学、バスボム作り体験など、とても充実した一日でした。下之郷教室ではこうした地域の施設などへの見学を定期的に行なっております。

この経験が、お子さん達にとって働くイメージを持つきっかけになると嬉しいです。

職員インタビュー

毎月、全国のこどもプラスの教室で働く職員さんをご紹介します。

運動療育をする中で 心がけていることはなんですか？

- お子さん達が楽しく運動に取り組めることを第一に考えています。
- 運動療育では、その日のプログラムに合わせて必要な動きが身に付くように工夫しています。例えば、鉄棒を行なう日には、懸垂力を養う運動を取り入れ、スムーズに挑戦できるようにしています。
- また、その日に来てくれるお子さん達の好きなことに合わせて運動を考えたりもしています。

どんな時にやりがいを感じますか？

- お子さんができなかったことを克服し、できるようになった瞬間に立ち会えると、とても嬉しく感じます。
- また、教室で伝えていることをお子さんが家でも取り組んでくれている様子などを保護者の方から伺うと、自分が伝えたことが日常生活にも良い影響を与えていることが分かり、やりがいを感じます。



こどもプラス
国府台教室
O先生



日々心がけていることはありますか？

- お子さんの理解度によって、同じ声掛けでも伝わらないこともあるので、日頃からお子さん達を観察して「この声掛けは伝わったな」「この子にはこの伝え方はあまり効果がないな」など、考えて伝え方を工夫しています。

お子さんとの関わりで 大変だと感じることはありますか？

- 言葉が通じないお子さんへの接し方は難しいと思うことがあります。思いが通じない時は少しでもポジティブな印象を与えるにはどうしたらいいのかを考えて接しています。

お子さんとのコミュニケーションで工夫していることはありますか？

- マイナスなことを言わないように心がけています。とにかく褒める機会を多くして、お子さん達の自信に繋げることが大切だと思っています。
- 「やって良かった」「楽しかった」と思ってもらえたら嬉しいです。

言語聴覚士による ことばの発達コラム

毎月言語聴覚士が「子どものことばの発達」をテーマにコラムを掲載いたします。

ことばの発達を確認するポイント

様々な原因により脳の発達や体の成長に影響があると、ことばを身につけるペースが緩やかになることがあります。そのような場合、「現在、どの程度ことばを理解し、使えるかどうか」を確認することがとても重要です。今回は、保育所や幼稚園、ご家庭、療育施設などからのご相談でもよくお伝えしているポイントをご紹介します。

理解度を確認しましょう

お子さんとのコミュニケーションの中で、ことばを話せないものの、理解している様子が見られる場面があるかもしれません。しかし、実際には「理解しているかどうか」を判断するのは意外と難しいことです。例えば、「日常生活の中でお子さんに声掛けをすると指示通り動くことができる」という場面について考えてみましょう。指示した内容が「毎日行なっている行動」ではないでしょうか。毎日、繰り返し行動していることは学習効果があるため、些細なヒントが少しあれば正しく行動できる場合があります。つまり、指示を理解したのではなく、指差しや表情、周囲の状況を見て、「次はこうするのかな」と予測して動いている可能性があるのです。そのため、理解度を判断する際には注意が必要です。

ではどのように確認すると良いのでしょうか。おすすめの方法は、「実物や絵カードなどを使い、二択の選択肢を提示し、単語のみの指示で正しい方を選び取ることができるか」を試してみましょう。ご家庭や施設にある様々な道具や玩具、本などを使用して多くの単語で試すことができるためおすすめです。もし、間違えた単語があればメモを取って記録しておく、専門機関や相談施設での情報提供に役立ちます。

聞き分け・聞き取りができるか確認しましょう

聴力はとても複雑な感覚器官です。大きな音が聞こえていれば、問題ないと判断されやすいですが、高い音と低い音の区別や、方向性の判別、急に大きな音がした際に耳を守る防衛反応まで、様々な能力があります。ことばの獲得において特に重要なのは、「日本語の五十音を正確に聞き分けられるか」という点です。例えば、「ま」と「な」、「ふ」と「す」、「い」と「に」、「せ」と「ね」など、音が似ていると聞き分けが難しい場合があります。しかし、日本語は一音でも異なると意味が大きく変わるため、特定の音（例えばサ行）が聞き取りにくいだけでも、ことばの発達に大きな影響を及ぼします。聴力に関する問題は、補聴器などで改善できることも多いです。何か気になる点があれば、定期健診の際に耳鼻科の先生に相談されることをおすすめします。

ことばの発達に関する理解度や聴力の確認は、今後の支援にとっても役立ちます。お子さんの成長を見守りながら、ぜひ確認してみてください。日々の観察や確認が、専門機関への相談時に貴重な情報となりますので、参考にいただければ幸いです。

